



「SOS の出し方教育」・



「大阪府版ゲートキーパー養成研修」テキスト講習会

府内の各地域で継続的かつ効果的に、「SOS の出し方教育」「ゲートキーパー養成研修」を企画・実施する人材を養成するため、下記のとおり、テキスト「こころの健康について考えよう!」「大阪府版ゲートキーパー養成研修」の活用方法を含めた講習会を Live 配信で実施します。

ぜひご受講してください。

日 時 令和4年5月11日（水）
第1部：「SOS の出し方教育」テキスト講習会 10時30分から12時
第2部：「大阪版ゲートキーパー養成研修」テキスト講習会 13時30分から17時

方 法 Zoom による生配信

対 象 大阪府保健所・中核市保健所等の精神保健福祉業務担当職員・府内市町村自殺対策担当職員、ゲートキーパー養成研修受託事業所職員*等 [定員：各50名]
※ 市町村自殺対策担当課が取りまとめの上、お申込みください。

内 容 第1部 ●テキスト「こころの健康について考えよう!」の説明・演習
●テキスト使用の手順
●質疑応答
第2部 ◆基礎情報編の説明：初級編・中級編・若年者支援編
◆ロールプレイ編の説明・演習
◆プログラムの組み合わせ例について
◆テキスト使用の手順

準備物 ・こころの健康について考えよう! 実施者用テキスト
・大阪府版ゲートキーパー養成研修 講師用テキスト（基礎情報編）
・大阪府版ゲートキーパー養成研修 講師用テキスト（若年者支援編）
※ 研修資料は大阪府こころの健康総合センターのホームページからダウンロードください。
講師用テキスト、受講者用テキストは通送で送付します。

その他 ・受講後アンケートは電子申請システムから5月20日（金）17時までにご回答ください。
・申込み締切り後に、当センターよりメールで「受講決定通知書」を送付します。

[申込み方法] 申込みフォームから直接お申込みください。

①氏名（ふりがな） ②職種 ③従事年数 ④所属機関名（例：大阪府こころの健康総合センター、〇〇市保健所、▽▽町立保健センター） ⑤所属課名（例：事業推進課、予防課、障がい福祉課）
⑥電話番号 ⑦メールアドレス ⑧受講内容 ⑨受講動機

[申込み先] こころのオアシス <http://kokoro-osaka.jp/>（研修→ [自殺対策研修](#)→「J-1」）

申込みフォーム <https://www.shinsei.pref.osaka.lg.jp/ers/input?tetudukid=2022040002>

[申込み締切り] 令和4年4月28日（木）17時まで

[問い合わせ先] 大阪府こころの健康総合センター 事業推進課 担当：南・伊藤・大岩

電 話 06-6691-2810（課直通）

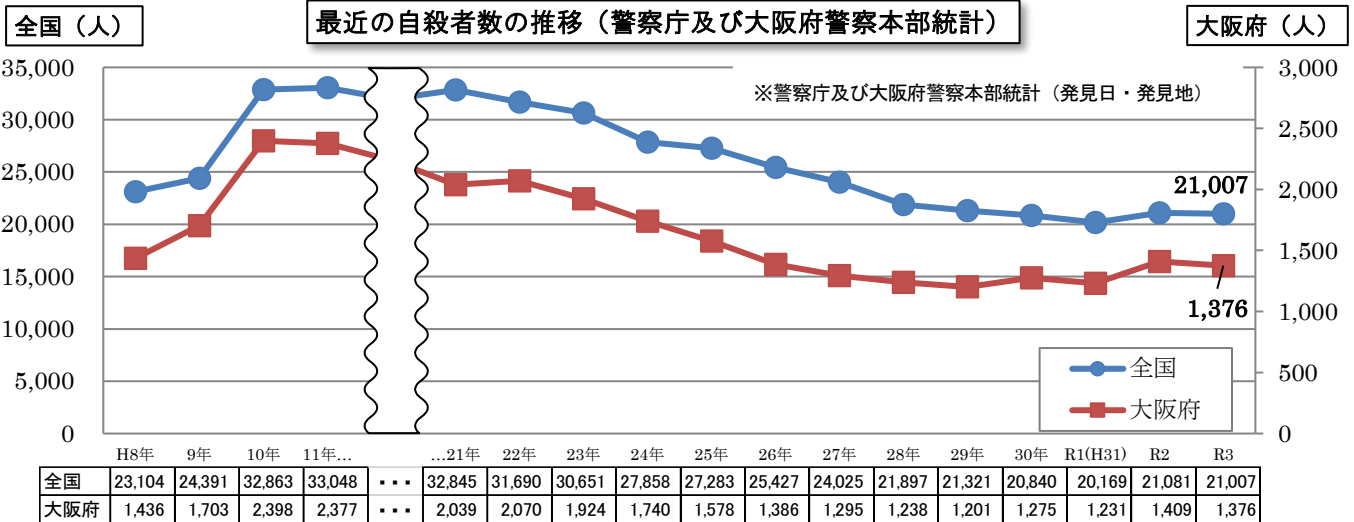
FAX 06-6691-2814

大阪府の自殺の現状



自殺の多くは、病気や障がい、慢性的な疼痛などの健康問題、倒産や失業、多重債務などの経済・生活問題、介護・看病疲れやいじめなど、個人の自由な意思や選択の結果ではなく、さまざまな要因が複雑に絡み合い、「心理的に追い込まれた末の死」と言われています。自殺に追い込まれる危機は、「誰にでも起こりうる危機」と言えますが、適切な支援やサポートによって防ぐこともできます。

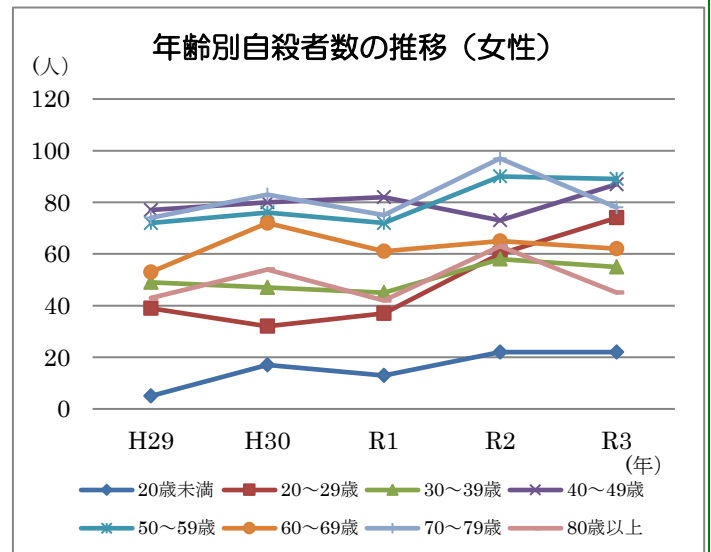
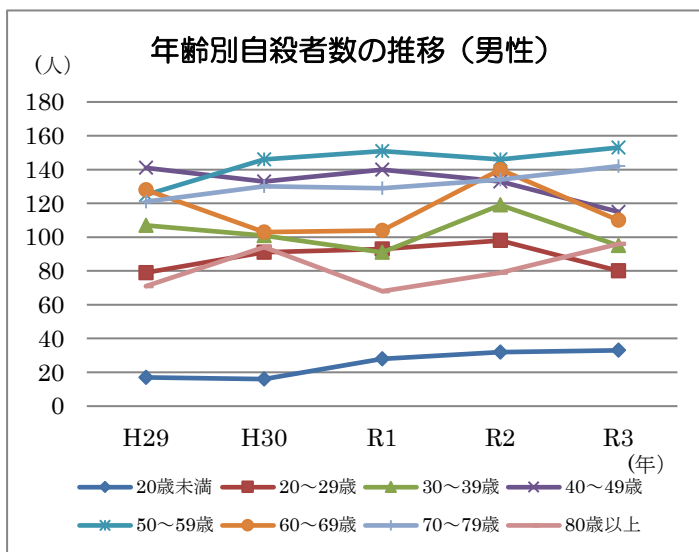
生きることへの包括的な支援をするために、関連機関が相互にかつ密接に連携する必要があります。



令和3年の自殺者数は、全国、大阪府ともに前年より減少したものの、新型コロナウイルス流行前の令和元年より多く、高止まりとなっています。

大阪府では、前年より33人減の1,376人でしたが、1日当たりでは3人以上の方が亡くなられており、依然としてたくさんの方の命が失われる深刻な状況が続いています。

令和3年の大阪府の自殺死亡率（人口10万人当たりの自殺者数）は、15.6でした。（全国 16.8）



男女別自殺者数は、男性が864人（62.8%）、女性が512人（37.2%）となっており、依然として男性が女性の2倍に近い数となっています。

年齢別で見ると、男女とも20歳未満の若年層は自殺者数が増加傾向にあります。

特に学生や妊産婦など、若者の自殺は遺族や社会への影響が非常に大きいことから対策が急務です。